

インタープリテーション科の沿革

年 度	インプリ科の動向	シニア自然大学校の動向
1994 (H6) 年度		大阪自然環境保全協会に講座「大阪シニア自然大学」を開講 広報誌「どんぐりっこ」発刊 1995.1.17 阪神・淡路大震災
1995 (H7) 年度		社会貢献事業発表会（第 1 回）開始 万博ネイチャーラリー開催 錦織公園遠足下見ガイドツアー受注
1996 (H8) 年度 代表 井澤彬	インタープリテーション科開設 万博ネイチャーラリーに参加 (H16 まで) 錦織公園遠足下見ガイドツアーに参加 愛パークフェスタ・どんぐり祭りに参加 水の科学博物館夏休みイベントに参加 社会貢献事業発表会に参加 こどもエコクラブの活動に参加	終了生を対象に研究部 6 科（インタープリテーション科、環境科、昆虫科、植物科、ビオトープ科、野鳥科）を開設
1997 (H9) 年度 代表 井澤彬	こんな遠足いかがが発行に参加 万葉森林ピックに参加「インプリ科が国営飛鳥歴史公園募集の夢プランに応募・採用される」	学校遠足マニュアル「こんな遠足いかがー自然で友達やった」発刊 京都議定書採択（COP3）
1998 (H10) 年度 代表 朝田道雄	地球館エコヤード行事に参加 茨木小校庭の自然観察会実施	生き生き地球館・自然体験観察園行事受注
1999 (H11) 年度 代表 朝田道雄	インプリメモ開始、インプリモデル開始 淡路景観園芸学校「ガーデナーズコース自然観察指導」開始 (H18 まで)	クラーク講座開講ビオトープ活動開始 淡路景観園芸学校講座受託
2000 (H12) 年度 代表 田中文雄	教員研修（教育研究会等）開始 インプリモデルの書式固まる 「生き物と友達に」（作曲いずみたく、作詞若尾氏）が科の歌に 鶴見緑地自然学習ガイド「おもしろわくわく自然探検」作成に参加	研究科 3 科増設 9 科に メダカ調査開始 服部緑地都市緑化植物園案内「この指たかれ」案内開始 「鶴見緑地ガイドブック」作成
2001 (H13) 年度 代表 田中文雄		研究科 2 科増設 11 科に 地球環境大学講座開講（自然学講座の前身）
2002 (H14) 年度 代表 松田哲弥	新入科員歓迎野草料理会始まる インプリメモ様式定まる、ホームページ開始 大阪府環境学習人材支援事業・小学校校庭の自然観察会始まる 「自然こんな付き合い方いかが？！」発行に参加	NPO 法人シニア自然大学を設立・独立 代表理事に長井美知夫氏を選出 講座部にインタープリテーションの実践を目指した高等科を新設（当科松田秀雄氏立ち上げ）

インタープリテーション科の沿革

年 度	インプリ科の動向	シニア自然大学校の動向
2003 (H15) 年度 代表 松田哲弥	10 名入科	広報誌「行事通信（自然と仲間の前身）」通刊 1 号発刊、9 月号から名称を自然と仲間に変更し、現在に至る。 万博自然教室開始
2004 (H16) 年度 代表 風間実	環境再生保全機構助成事業・小学校校庭の自然観察会始まる 3 分間スピーチ開始 インタープリター入門講座（大阪いずみ生協）実施 セミの抜け殻調査始まる 大阪府提案公募型協労事業に応募、入選 「自然体験型環境学習シリーズいのちのきずな」発行 小学校の自然観察会 22 校を数える 鶴見緑地自然教室開始（H22 年まで）	研究科 2 科増設 13 科に マイスター開設 セミの抜け殻調査受注 インタープリター入門講座（大阪いずみ生協）受注 「大阪府に於けるメダカの生息状況報告」出版
2005 (H17) 年度 代表 山田稔	「セミの歌声」（作詞野島氏、作曲若尾氏）を発表 会計基準の整備	CONE（自然体験活動指導者）指導者養成開始 花・彩・祭・緑化おおさかフェア 2006（65 日間）受注 「大阪府に於けるカエルの生息状況報告」出版
2006 (H18) 年度 代表 山田稔	インプリモデルの CD 収録 慶弔規定の作成 大阪教育大生活科のインプリ研修開始 講座生対象インプリ入門講座開始（継続中） 「大阪城・難波宮四季自然キッズ学習キット」作成に参加	生き生き地球館子供エコクラブ立上げ 「大阪城公園四季自然キッズ学習セット」作成
2007 (H19) 年度 代表 高見修次	行事進行マニュアルの作成	CITY カレッジ開講 大阪市長表彰（シニア自然大学） 「大阪府に於ける淡水生カメ類の生息状況報告」出版
2008 (H20) 年度 代表 倉田晃	新入科員ゼロ 危機感を持つ 定点観察会（年 4 回）の開始 3 割負担の撤廃（社会貢献活動謝金の取扱い） 社会貢献活動の「行事進行マニュアル」作成 八幡屋公園フェスティバル参加開始	シニア自然大学校理念改定 15 周年記念式典及び記念誌発行、記念シンポジウム 「八幡屋学遊クラブ」企画提案 エコバスツアー開始（夢基金） 国交交通大臣賞（おおいずみ・どんぐりの会）

インタプリテーション科の沿革

年 度	インプリ科の動向	シニア自然大学校の動向
2009 (H21) 年度 代表 倉田晃	環境紙芝居「水はいのちの母」作成 高齢者大学校講座支援開始 (H29 まで)	NPO 法人シニア自然大学校に名称 変更 生き生き地球館と協労で「地球環境 シンポジウム」を実施
2010 (H22) 年度 代表 小柳茂	環境紙芝居「いのちを育てる土」作成 工作設計図の CD 収録 大阪教育大生活科教育法のインプリ研修開 始 (継続中) 2011.3.25「自然観察行事でのインプリ研修 の進め方」決定 (インプリプレイ、インプリ サプリ、ポイントガイドの 3 区分)	生き生き地球館と協労で「食と健康 と環境講座」を開催 「地球環境シンポジウム」開催 COP10 開催 (名古屋) 農林水産省賞 (いこま棚田クラブ) 2011.3.11 東日本大震災
2011 (H23) 年度 代表 小柳茂	10 名が入科 15 周年記念誌発行 スカイウォーク実施方法について議論 (肩 に手を置くかどうか) 環境紙芝居「いのち豊かな奇跡の国日本」 作成	研究発表 2 日間 20 周年行事委員長に当科松田秀雄 氏就任 地球環境シンポジウム 淀川プロジェクト準備会立上げ
2012 (H24) 年度 代表 濱崎功	イネ科研究会立上げ ホームページ再開 「どんぐりころころ」5 番 (作詞若尾氏)	研究部予算縮小 65%→63% ビオトープ科活動休止 12 科に 環境大臣賞 (奈良・人と自然の会) 10 月、会員から入学生に変更 (公益 性拡大)
2013 (H25) 年度 代表 濱崎功	万博ネイチャラーが大学校祭になった ことから参加開始 (継続中) 長居植物園スプリング・オータムフェアに 参加 (R 元まで)	20 周年記念式典及び記念誌発行 20 周年記念音楽祭 万博ネイチャラーを大学校祭 に (創立者・長井美知夫氏逝去)
2014 (H26) 年度 代表 石川正樹	2014.7.18「インプリのガイド方法についての 確認 自然観察会でのインプリプレイについ て」(インプリサプリは廃止し、インプリプレ イに統一。ポイントガイドは解説に変更) 長居植物園ネイチャーツアー開始(H30 まで) 環境紙芝居「どんぐりってすばらしい」作成	国土交通大臣賞 (いこま棚田クラ ブ)
2015 (H27) 年度 代表 石川正樹	講座部本科への講師派遣開始(社会貢献活 動の紹介)	淀川学遊クラブ発足 研究部予算の枠拡大要望、理事会に 提案 地球環境概観第 5 次報告書 (上巻) 発刊

インタープリテーション科の沿革

年 度	インプリ科の動向	シニア自然大学校の動向
2016 (H28) 年度 代表 平岡久美	長居植物園ネイチャーツアー有料化 (100 円) 講座部本科への講師派遣(社会貢献活動の紹介) シニア自然大学校代表表彰 (長年の社会貢献活動に対し)	研究部予算拡大 63%→68% 認定 NPO 法人格取得 (格の向上と寄付者への税制上の優遇)
2017 (H29) 年度 代表 濱崎功		内閣総理大臣賞(奈良・人と自然の会) 文部科学大臣賞(大阪市森之宮少年少女発明クラブ) 「大阪府に於けるメダカ生息状況報告」出版
2018 (H30) 年度 代表 濱崎功	インプリモデル検討会 出前教室を拡充し「小学校自然ふれあい教室」に (3年後見直し) 研究部科員確保の検討 長居植物園ネイチャーツアー終了	研究部予算拡大 68%→75% 25 周年記念式典及び記念誌発行 国土交通大臣表彰 (ソラードの会) 環境大臣表彰 (茨木バラとカシの会) 出前教室を拡充し「小学校自然ふれあい教室」に 『こども自然ふれあい教室』基金の創設 八幡屋公園自然観察ガイドブック製作 自然大学とサークルの役割等再確認のため覚書を交わす
2019 (R 元) 年度 代表 奈倉久美子	インプリモデル検討会 インプリ科基本理念の策定 3 割負担問題が再燃、結論を次年度へ持ち越す 2019.8.19「自然観察会でのインタープリテーションについて」(インプリプレイを廃止し、インタープリテーション又は短縮しインプリとする)に改定	研究部予算拡大 75%→78% 国土交通大臣表彰 (自然観察・工作科) 研究発表の日程を早め講座生の参加を促す
2020 (R 2) 年度 代表 奈倉久美子	新入科員ゼロ、対応を検討。 インタープリテーション入門講座を本科の講座で実施	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため休校 2020.2.29～6.30 2021.1.11～2/28
2021(R3)年度 代表 大蔵晃	2 年連続新入科員ゼロ、危機感を持つ 25 周年記念誌発行	研究部予算縮小 78%→75% 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため休校 2021.4.25～6.20 8.2～9.12 地球環境概観第 5 次報告書 (下巻) 発刊